



## 2025年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月12日

上場会社名 松竹 株式会社 上場取引所 東 札 福  
コード番号 9601 URL <https://www.shochiku.co.jp>  
代表者（役職名） 代表取締役社長 （氏名） 高橋 敏弘  
問合せ先責任者（役職名） 上席執行役員 （氏名） 尾崎 啓成 TEL 03-5550-1699  
四半期報告書提出予定日 2024年7月12日 配当支払開始予定日 ー  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2025年2月期第1四半期の連結業績（2024年3月1日～2024年5月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第1四半期	19,483	△16.0	346	△85.6	4	△99.8	△88	—
2024年2月期第1四半期	23,182	24.0	2,411	—	1,928	132.4	1,629	△73.4

（注）包括利益 2025年2月期第1四半期 627百万円（△85.1%） 2024年2月期第1四半期 4,194百万円（△27.2%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第1四半期	△6.41	—
2024年2月期第1四半期	118.61	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期第1四半期	210,971	94,678	44.8	6,884.34
2024年2月期	211,140	94,466	44.7	6,868.61

（参考）自己資本 2025年2月期第1四半期 94,583百万円 2024年2月期 94,367百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2025年2月期	—	—	—	—	—
2025年2月期（予想）	—	0.00	—	30.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	91,700	7.3	1,300	△63.7	1,300	△54.6	3,500	16.0	254.75

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期1Q	13,937,857株	2024年2月期	13,937,857株
② 期末自己株式数	2025年2月期1Q	198,913株	2024年2月期	198,877株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年2月期1Q	13,738,956株	2024年2月期1Q	13,736,259株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善に伴い緩やかな回復がみられるものの、原材料価格の高騰や物価の上昇の他、金融資本市場の変動等により、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

このような状況下、当企業グループはより一層の効率化を図るとともに、積極的な営業活動に努めて参りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間は、売上高19,483百万円(前年同期比16.0%減)、営業利益346百万円(同85.6%減)、経常利益4百万円(前年同期比99.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失は88百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益1,629百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (映像関連事業)

配給は、邦画2作品、洋画3作品、シネマ歌舞伎、METライブビューイング、松竹ブロードウェイシネマなどの作品を公開しました。2024年1月公開の「機動戦士ガンダムSEED FREEDOM」は引き続き高稼働を維持し、興行収入は48億円を超える大ヒットとなりました。

興行は、上記作品に加え、「劇場版ハイキュー!! ゴミ捨て場の決戦」や「名探偵コナン 100万ドルの五稜星」といったアニメ作品が好調に推移いたしました。MOVIX八尾は2023年8月に台風7号の被害を受けた影響により現在休館しておりますが、2024年秋に営業再開を予定しております。

テレビ制作、映像ソフト、テレビ放映権販売は、堅調に推移いたしました。

配信は、定額制動画配信に関して、Amazon Prime Videoにて「おまえの罪を自白しろ」の見放題独占配信をスタートさせ、売上に大きく貢献しました。

CS放送事業等は、松竹ブロードキャスティング㈱が市場環境は厳しい状況ながら、ケーブルテレビ局への導入営業の強化により、計画通りに利益を確保致しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は10,002百万円(前年同期比26.3%減)、セグメント利益は262百万円(同88.7%減)となりました。

#### (演劇事業)

歌舞伎座においては、三月大歌舞伎、四月大歌舞伎、團菊祭五月大歌舞伎など、月ごとに彩を変え、話題となる公演を揃えました。

新橋演舞場においては、3月の「ヤマトタケル」、4月の「祭 GALA」、5月の「トンカツロック」「東をどり」等の公演で大変好評を博しました。

大阪松竹座においては、3月の「おいでよ! ミナミ笑店街」、4月の「レビュー春のおどり」、「トンカツロック」、5月の「OSK日本歌劇団 OG公演 Eternal Glory」、「松竹新喜劇 喜劇発祥120年」等幅広い演目での公演を行いました。

南座においては、3月の「三月花形歌舞伎」、4月の「舟木一夫シアターコンサート in 南座」、5月の「南座歌舞伎鑑賞教室」といった公演を行った他、「新作歌舞伎『刀剣乱舞 月刀剣縁桐』京都南座 衣裳展」を開催いたしました。

その他の公演としては、新宿歌舞伎町のTHEATER MILANO-Zaで初めて歌舞伎が上演される「歌舞伎町大歌舞伎」や5年ぶりの開催となった「こんびら歌舞伎大芝居」に携わりました。

シネマ歌舞伎は、「月イチ歌舞伎 2024」として4月から新作「刀剣乱舞 月刀剣縁桐」を公開いたしました。METライブビューイングは、2023-24シーズンでは新演出作品を加え、複数の作品を公開いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,524百万円(前年同期比8.6%減)、セグメント損失は514百万円(前年同期はセグメント損失304百万円)となりました。

#### (不動産事業)

不動産賃貸では、入居テナントとの綿密なコミュニケーションと良好な関係構築に努めることで、歌舞伎座タワーや銀座松竹スクエアなど主要物件の高稼働により安定収益を確保しました。また、2023年10月に新規取得した銀座2丁目松竹ビル・同ANNEXも高稼働となりました。これらにより、前第1四半期を上回る実績となっております。

中長期戦略である東銀座エリアマネジメント活動においては、一般社団法人とまちづくり推進協議会に賛同・入会いただく企業も増え、街の賑わい創出イベントを開催するなど、地域貢献とエリアの価値向上のための取り組みを一層強化しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,438百万円(前年同期比12.1%増)、セグメント利益は1,552百万円(同12.4%増)となりました。

#### (その他)

プログラム・キャラクター商品販売は、「機動戦士ガンダムSEED FREEDOM」等を中心に収益に貢献しました。

イベント・オンラインゲーム配信は、ゲームプラットフォーム「フォートナイト」にてクリエイティブマップ「『呪園 Ju-en』 the Cursed Park」を提供するとともに、リアルイベントとして西武園ゆうえんちにて「呪園

Produced by 松竹お化け屋本舗」を開催いたしました。

また、新規にゲーム事業に取り組み、日本のパブリッシングパートナーとして「バックパック・バトル」を宣伝販売いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は517百万円（前年同期比2.1%増）、セグメント損失は174百万円（前年同期はセグメント損失205百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ169百万円減少し、210,971百万円となりました。これは主に投資有価証券が増加したものの、現金及び預金、その他流動資産が減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ381百万円減少し、116,293百万円となりました。これは主に借入金が増加したものの、その他流動負債が減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ212百万円増加し、94,678百万円となりました。これは主に配当金支払による利益剰余金の減少があったものの、その他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績及び今後の見通しを検討した結果、2024年4月15日付「2024年2月期 決算短信」にて発表いたしました業績予想を変更しております。詳細は、本日発表の「投資有価証券売却益（特別利益）計上見込み及び通期業績予想（連結・個別）の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,195	17,468
受取手形、売掛金及び契約資産	10,714	8,733
商品及び製品	1,783	1,751
仕掛品	4,155	4,752
原材料及び貯蔵品	117	114
その他	5,181	3,170
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	42,142	35,987
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	39,353	38,820
設備（純額）	11,919	11,792
土地	52,011	52,011
その他（純額）	4,716	4,671
有形固定資産合計	108,001	107,296
無形固定資産		
その他	1,954	1,932
無形固定資産合計	1,954	1,932
投資その他の資産		
投資有価証券	40,852	47,648
退職給付に係る資産	185	231
その他	18,098	17,952
貸倒引当金	△93	△76
投資その他の資産合計	59,042	65,755
固定資産合計	168,998	174,984
資産合計	211,140	210,971

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,501	8,210
短期借入金	4,871	5,421
1年内返済予定の長期借入金	18,971	16,066
未払法人税等	1,146	199
賞与引当金	553	406
その他	9,472	8,258
流動負債合計	43,516	38,564
固定負債		
長期借入金	45,335	49,665
役員退職慰労引当金	239	61
退職給付に係る負債	1,854	1,851
資産除去債務	5,229	5,254
その他	20,498	20,895
固定負債合計	73,158	77,728
負債合計	116,674	116,293
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,018	33,018
資本剰余金	30,187	30,187
利益剰余金	16,178	15,676
自己株式	△1,447	△1,447
株主資本合計	77,938	77,435
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,739	17,452
為替換算調整勘定	△63	△63
退職給付に係る調整累計額	△246	△240
その他の包括利益累計額合計	16,429	17,148
非支配株主持分	98	94
純資産合計	94,466	94,678
負債純資産合計	211,140	210,971

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
売上高	23,182	19,483
売上原価	12,896	11,210
売上総利益	10,285	8,273
販売費及び一般管理費	7,874	7,926
営業利益	2,411	346
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	1	89
雇用調整助成金	5	—
補助金収入	70	—
その他	52	74
営業外収益合計	132	166
営業外費用		
支払利息	127	194
借入手数料	116	55
持分法による投資損失	324	231
その他	47	28
営業外費用合計	615	509
経常利益	1,928	4
特別利益		
事業譲渡益	200	—
特別利益合計	200	—
特別損失		
固定資産除却損	1	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益	2,127	3
法人税、住民税及び事業税	512	29
法人税等調整額	△19	65
法人税等合計	492	95
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,634	△91
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	5	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,629	△88



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	1,634	△91
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,544	711
退職給付に係る調整額	14	5
持分法適用会社に対する持分相当額	1	2
その他の包括利益合計	2,560	718
四半期包括利益	4,194	627
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,189	630
非支配株主に係る四半期包括利益	5	△3

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2023年3月1日 至 2023年5月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	映像関連事業	演劇事業	不動産事業	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高							
外部顧客への売上高	13,563	6,045	3,066	507	23,182	—	23,182
セグメント間の内部売上高又は振替高	28	47	493	30	599	△599	—
計	13,592	6,092	3,559	537	23,781	△599	23,182
セグメント利益又は損失(△)	2,324	△304	1,381	△205	3,196	△785	2,411

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プログラムの製作・販売、キャラクター商品の企画・販売、配信コンテンツの企画・制作、新規事業開発等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△785百万円には、セグメント間取引消去1百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△786百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る経費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2024年3月1日 至 2024年5月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	映像関連事業	演劇事業	不動産事業	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高							
外部顧客への売上高	10,002	5,524	3,438	517	19,483	—	19,483
セグメント間の内部売上高又は振替高	65	33	486	27	613	△613	—
計	10,068	5,558	3,925	545	20,096	△613	19,483
セグメント利益又は損失(△)	262	△514	1,552	△174	1,126	△780	346

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プログラムの製作・販売、キャラクター商品の企画・販売、配信コンテンツの企画・制作、新規事業開発等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△780百万円には、セグメント間取引消去△2百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△778百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る経費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（重要な後発事象）  
（投資有価証券の売却）

1. 当社は、2024年6月25日開催の取締役会において、当社が保有する株式会社永谷園ホールディングス（以下、「対象者」という）が公表した「エムキャップ十二号株式会社による株式会社永谷園ホールディングス（証券コード2899）の株式に対する公開買付けの開始に関するお知らせ」及び「MBOの実施及び応募の推奨に関するお知らせ」に関する公開買付け（以下「本公開買付け」という）に応募することを決議いたしました。

（1）本公開買付けへの応募の理由

当社は、政策保有株式として対象者株式を保有しております。当社はエムキャップ十二号株式会社による対象者株式の取得及びそれに伴う対象者のマネジメントバイアウトに賛同する立場であります。

本公開買付けについて、対象者の取締役会が賛同する旨の意見を表明するとともに、対象者の株主に対して本公開買付けへの応募を推奨していること、及び買付価格等の条件が妥当であると判断できることから、当社は、本公開買付けに対して、保有する対象者株式616,000株を応募することにいたしました。

（2）本公開買付けに応募する所有株式数

応募前の所有株式数	616,000 株
応募する株式数	616,000 株
応募後の所有株式数	0 株

（3）本公開買付けによる買付予定価格

普通株式1株につき、金 3,100円（売却予定総額 1,909百万円）

（4）本公開買付けの日程

公開買付け開始公告日	2024年6月3日
公開買付け期間	2024年6月4日から2024年7月16日まで
決済の開始日	2024年7月23日

（5）業績への影響

本公開買付けが買付予定価格で成立し、当社が保有する対象者の全株式を売却した場合、2025年2月期に投資有価証券売却益915百万円として特別利益を計上する見込みです。

2. 当社は、2024年7月12日開催の取締役会において、当社が保有する投資有価証券の一部を売却することを決議しました。

（1）投資有価証券の売却理由

政策保有株式の売却による資産効率の向上及び財務体質の強化を図るため

（2）投資有価証券の売却予定時期

2024年9月末まで

（3）投資有価証券売却の内容

①売却株式	当社保有の上場有価証券1銘柄
②投資有価証券売却益	30億円（見込み）